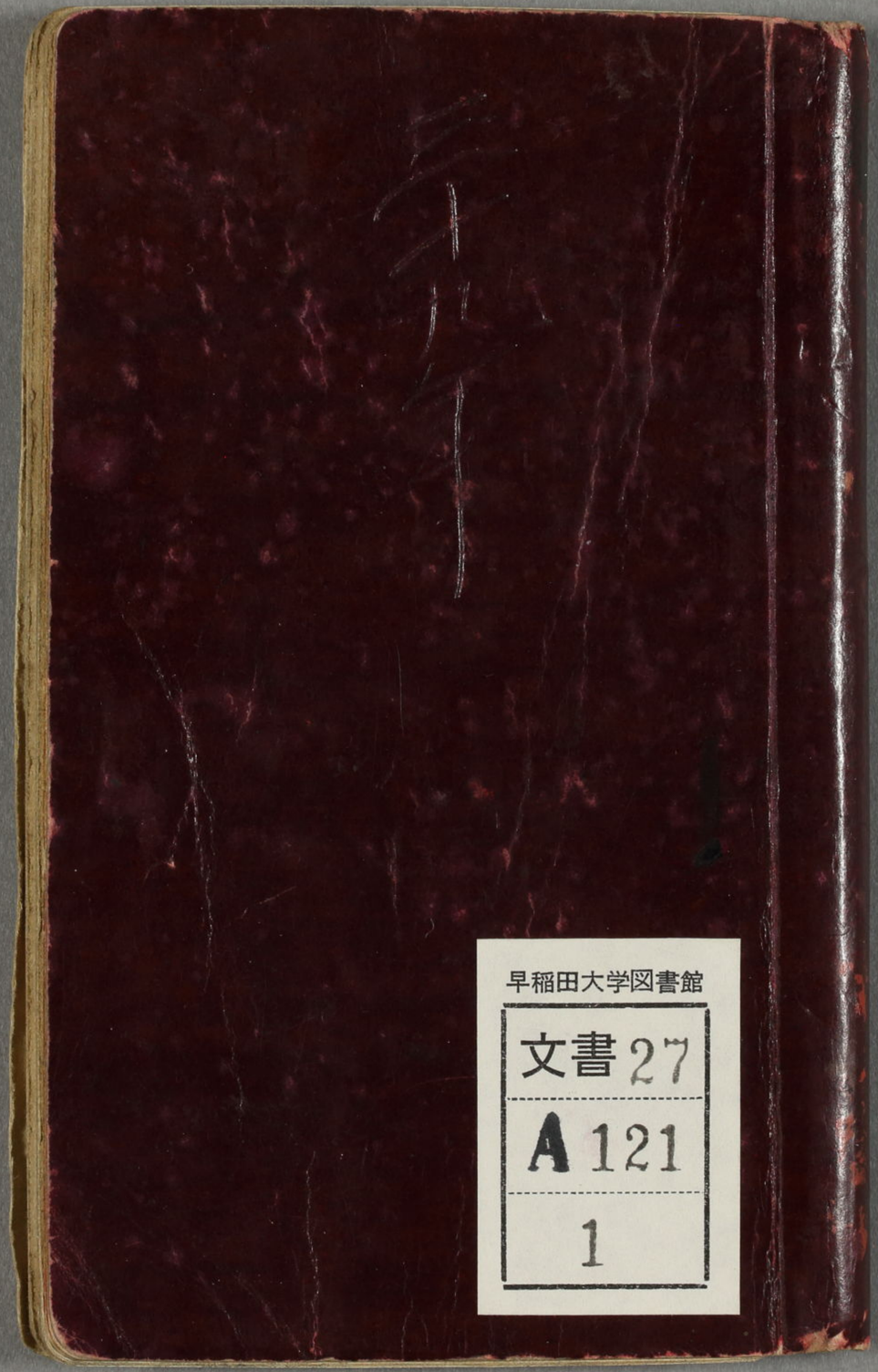
早稲田大学図書館
文書27
A121
1

三十九年
六月

三十九年
六月廿二

十日　勝上泉ヶ作

六月

由宇

電信

四日

園沢病院

後室

十月九日
若槻大蔵次官ト満洲鉄道

警務学堂七慶法
総テ利権回収ノ渦中ニ巻キコム
居ル

八日

高岡一泊ニテ
福島安正「満州」
ヲ訪ヒ

英国前公使
ヨリ途ニ高日光ニ
行ク

本国へ帰ルヨシ

イトマヲ請ヒ
今日出發

過日西皇英国ヨリ
絶ルヤ否禁錮ヲ
僕ヲ免ル

獨自ラストリ帝ト
三国ヲ同盟ヲ以テ
露仏英ヲ外ニ
集ヲ造テ日英

伊皇聘

寿命避退歴

岩田宇

泰次郎

十一日　三十九年

常中依江光報

栄吉より

十日午前九時過ぎ来れる
大山中（国）金山参加
十時過ぎ来れる
大山中（国）金山参加
滋子英子西宮より女中一人岩国へ
普通電報にて栄吉ノ電報ヲ
来レル旨午後三時平河ヨリ発

栄吉ヨリ

十一日午前十時過ぎ来れる
山中宅より
一昨日指紋
一昨日指紋
十時
十時
山中脳充血
起居不自由
起居不自由
朝風館支配人
朝風館支配人
昨日
昨日

寶永貳年(?)
遠國者ニ行キ今
十八日ニ可來ト
新格ニ可同ト
小平總次官島
出發ヒ(?)
巡査ニ令上
印形
澁英健寛書

指來淵ヨリ淵ニ
本郷ヨリ田迄
一六拾銭
一三銭

十三ヶ條
おしげ祝たくかき 来リ達ス
年始十年賀祭分勤務事大概ニ御
悠三郎新橋まで送ル、
車中児玉陸軍ニ命ニ
決定

增田義高、高利貸ノ人

会十三
午後三時大湫ヲ発
楊子荘ニ着
大安寺ニ移ル
十四日晴天
海岸ニ出テ梓山崖ヨリ浪打際
ヲ通ル
船数隻碇泊ス
451ノ漁父小船ニ乗リ来ル
夜食ス
○一週完了
十五日
松岡ヲ経テ午後
晩天ヨリ雨
校長ノ周旋ニテ
一週
松ニテ入浴

十六日 朝 陳宅ヲ辞シ
おまつさんヲ連テ二村駅ヨリ
汽車ニテ出発ス 午後
西郷ニ着 直ニ
十四郎ノ第ニ
十九日 午前

忠心

入齒成

西園泰助洲行

紀州大島行

四月十四日より五月末迄

男猟犬 大 兎猟

雌 〃 〃

雄 〃 三才 狸猟

雌 〃 〃

姓名 大東亜商会

旅館

軽傷者
四四
平衡
張春
公化ニ治
吉林

大連八民
○海軍陸

松本校宅

○ 十 文部省
○ 十 出勤
○ 十 四時
○ 二十 帰宅

二十四日 曇 寒暖計 [illegible]

殘星點水初
夢來道 舟
回首橫雲
天如曙清
春波 川花影
小倉庵
三十
秋

雨

廿九年六月六日

六月三十日 星期日 晴 二十七度

七月

一日 星期一 晴

六月十日午後二時半ノ
山口縣玖珂郡
岩國町ヨリ
陸軍省ニ
宛テ左ノ
電報ヲ
受信セリ
（訓令表發信）
「高知縣
安藝郡
室戸岬
東南東
海上ニ
軍艦ノ
姿ヲ
認メ
タリ
其ノ
位置
ハ
北緯
東經

柴吉
柴吉達吾
柴吉真岩
六月十二日
[illegible]
着柴吉
[illegible]
[illegible]
[illegible]

有名無実

十月

一 參日

一 七日

一 卅日

一 一日

一六日　佐藤
三好氏、松山氏
来
一七日　浅野氏
一十五時　小池病事務

十八日　来訪　三宅忠吉木町二丁目
一八日　三宅忠吉木町二丁目
一武士階　仙台藩家老上杉米沢四拾
一十九日

右樂好
クリムヒルト
ヒレヒラ伝奇
ナポレヲン

馬
牛ニテモ
モ

ミイトイロ
タキ